

- 問1 奈良時代、墾田永年私財法をきっかけに貴族や寺院が広大な土地を所有するようになった結果生まれた、私有地のことを何という？
- 問2 大化の改新以降、土地や人々はすべて天皇（国家）のものであるとする原則を何という？
- 問3 大伴家持らが編纂に関わったとされる、現存する日本最古の和歌集を何という？
- 問4 戸籍に基づいて6歳以上のすべての人々に田地を分け与え、そのかわりに税を徴収する制度を何という？
- 問5 令制国に派遣され、徴税や裁判といった地方の行政を担った官吏を何という？
- 問6 遣唐使の船が日本から中国へ向かう際、多くの遭難者を出した荒れる海域を何という？
- 問7 奈良時代の正倉院に収められている工芸品のもとになった、ユーラシア大陸を横断する交易路を何という？
- 問8 律令制下で、九州北部の守備を担当した兵士の任務を何という？
- 問9 710年に唐の都である長安をモデルにして建設された、奈良の都を何という？
- 問10 律令制において、中央政府から地方に派遣され、その地域の行政・司法・軍事を統括した役職を何という？
- 問11 奈良時代末期に編纂された、現存する日本最古の歌集を何という？
- 問12 約4500首もの多様な階層の歌が収められている、日本最古の歌集を何という？
- 問13 仏教の力で国家の安定を図るため、全国に国分寺の建立を命じた天皇は誰？
- 問14 聖武天皇が国分寺とともに、日本各地の女性のために建立させた寺院を何という？
- 問15 聖武天皇の時代に奈良を中心に栄えた、唐や西アジアの文化の影響を受けた国際色豊かな文化を何という？
- 問16 戸籍に基づいて人々に口分田を与え、死後には国に返させるという奈良時代の土地制度を何という？
- 問17 古代、中国の都から西アジアまでを結び、日本へ多くの貴重な文物や文化を伝えた交易路を何という？
- 問18 713年、国ごとに地理や産物などをまとめるように命じた天皇は誰？
- 問19 行基が協力したことで知られる、聖武天皇が国家の安泰を願って奈良に造営した巨大な仏像を何という？
- 問20 律令制度のもと、中央政府から地方に派遣されて郡司を指揮し、各地の統治を担当した役人を何という？
- 問21 奈良時代の班田収授法において、政府から農民一人ひとりに分け与えられた田を何という？

答え合わせ・解説

問1	答え 荘園	こうして形成された私有地が荘園です。有力者は税を逃れるために土地を荘園として確保し、支配力を強めました。これにより、天皇を中心として全国の土地と民を直接支配する「公地公民」の制度が維持できなくなりました。
問2	答え 公地公民	公地公民とは、すべての土地と人民を国家が直接管理し、公的なものとする原則です。これにより戸籍を作り、国民に田地を分け与えることで、税を徴収する仕組みを整えました。
問3	答え 万葉集	万葉集は、現存する日本最古の和歌集です。歌人としても有名な大伴家持が編集に大きく貢献したとされており、奈良時代末期までに完成しました。収録されている歌は、天皇から防人、農民まで非常に幅広い階層の人々によって詠まれたものであり、当時の多様な人々の感情や生活文化が生き生きと表現されています。
問4	答え 班田収授法	班田収授法は、6歳以上の男女に口分田という田地を貸し与え、その人が亡くなれば国に返させる制度です。この田地から収穫された米の一部が税として国家に納められました。
問5	答え 国司	国司は、国府を拠点として、租庸調の徴収や公共事業、裁判など地方における行政実務を一手に担いました。これにより、中央政府の命令が地方のすみずみまで行き届く仕組みが完成しました。
問6	答え 東シナ海	東シナ海は波が荒く、また気象観測技術も未熟だったため、渡航は命がけの作業でした。特に大陸へ向かう際は、季節風や海流の影響を大きく受け、多くの留学生や僧侶が海に没しました。無事に到着できたのは一部の船のみということも珍しくありませんでした。
問7	答え シルクロード	シルクロードは「絹の道」とも呼ばれ、中国から中央アジアを経て地中海世界へとつながる壮大なルートです。この道を通じて、ガラス製品やペルシャ風の文様、五絃琵琶といった西アジアの楽器などが日本へ伝わりました。正倉院は、聖武天皇ゆかりの品々を納めた宝庫であり、国際色豊かな天平文化を今に伝える貴重なタイムカプセルとなっています。
問8	答え 沿岸警備	防人は、律令制における国防の要として、特に重要視された九州北部の防衛を任されました。農民の中から徴兵されて派遣されましたが、任期は長く、遠い故郷を離れて厳しい監視活動を続けなければなりませんでした。彼らの任務は国の平穏を守るための最前線でした。
問9	答え 平城京	平城京は、710年に元明天皇によって奈良の地に建設された都です。唐の都である長安をモデルにして設計され、天皇を中心とした政治体制を整えるための国家の拠点となりました。計画的に道路が配置され、貴族の邸宅や立派な寺院が立ち並び、当時としては非常に高いレベルの都市機能を持っていました。
問10	答え 国司	「国司」は、朝廷から地方の「国」に派遣される長官です。その国の政治・裁判・軍事など全般を管理する非常に重要な職務でした。任期があり、現地の実務を担う郡司を指揮して効率的な地方支配を行いました。
問11	答え 万葉集	万葉集は、奈良時代末期に大伴家持らによってまとめられたと言われる、日本最古の和歌集です。約4500首もの歌が収められており、天皇や貴族だけでなく、防人や農民といった庶民の歌も含まれているのが大きな特徴です。当時の人々の生活感情や社会の様子を知るための貴重な歴史資料となっています。
問12	答え 万葉集	万葉集は、奈良時代末期にまとめられた日本最古の和歌集です。約4500首という膨大な歌が収められており、その中には天皇や貴族だけでなく、兵士である防人や農民といった、普段は歴史の記録に残りにくい人々の歌も含まれていることが大きな特徴です。素朴で力強い感情表現が多用されていることから、当時の人々の息吹を直接感じることができる資料です。
問13	答え 聖武天皇	聖武天皇は、仏教の慈悲の力によってこの苦難を乗り越えようと考え、「鎮護国家」の思想に基づき、全国に国分寺と国分尼寺を建てることを命じました。また、東大寺に巨大な大仏を造るなど、壮大な国家プロジェクトを主導しました。その信心深さとスケールの大きさは天平文化の頂点を示しています。
問14	答え 国分尼寺	国分尼寺は、国分寺と同様に「鎮護国家」の願いを込めて建てられました。法華滅罪之寺とも呼ばれ、女性僧侶（尼）が修行を行い、祈りを捧げる場所でした。各地の国府の近くに建てられ、国分寺とともに仏教信仰の地域的拠点として重要な役割を果たしました。
問15	答え 天平文化	天平文化は、聖武天皇を中心とする貴族や仏教が主導した文化です。唐の影響だけでなく、シルクロードを通じて伝わった西アジアの文化の影響も強く見られ、国際的で豪華な特徴を持っています。代表例として、東大寺の大仏建立や、正倉院に保管されている宝物などがあります。
問16	答え 班田収授法	班田収授法は、戸籍を作成して6歳以上のすべての人々に「口分田」と呼ばれる土地を分け与える制度です。受け取った人は、その見返りとして租・庸・調などの税を納める義務を負いました。本人が死亡したときには、その土地を国に返却する仕組みです。この土地制度により、国家による民衆の把握が徹底されました。
問17	答え シルクロード	シルクロードは、東アジアの中国から西アジア、さらにはヨーロッパへ通じる壮大な交易路です。この道を通じて、宝石、織物、香料、あるいは仏教やキリスト教などの宗教、芸術の技法が伝播しました。日本にもその影響が及び、当時の奈良に伝わった宝物の中には、シルクロードを経由して渡来したものが見られます。
問18	答え 元明天皇	第43代天皇で、710年の平城京遷都を実行しました。また、国家の歴史や伝承をまとめるために、太安万侶らに『古事記』の編纂を命じ、各地の地理や産物を記録する『風土記』の作成を命じました。国力を充実させ、安定した統治を目指した人物です。
問19	答え 東大寺の大仏	「東大寺の大仏」は、鎮護国家の精神を象徴する巨大な銅像です。完成には膨大な費用と人員が必要であり、聖武天皇は人望の厚い僧・行基に協力を仰ぎました。多くの民衆や貴族が造営に関わり、ようやく完成しました。
問20	答え 国司	国司は都から派遣された貴族階級の官僚で、現地の有力者である郡司を指導し、税の徴収や戸籍の管理、治安維持を行いました。地方行政の最高責任者として大きな権力を持っていました。
問21	答え 口分田	6歳以上の男女に与えられ、その代償として農民は租・庸・調などの税を納める義務を負いました。農民の死後は国に返還する決まりとなっていました。この土地で稲を栽培し、国の財政を支える仕組みでした。